

-----  
△▼札幌医科大学 附属産学・地域連携センターメールマガジン△▼  
-----

■第10号■ 2008年8月26日発行

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メールマガジン第10号をお届けします。今年度から、「メールマガジン」ではセンター各部門の活動報告を中心とした内容を掲載いたします。

▲目次▼

1. 各部門活動報告
2. 外部研究費公募情報について
3. 所長から

◆本メールマガジンは学内教職員ならびに希望者の方に配信しております◆

- 1. 各部門活動報告  
-----

△▼産学・地域連携部門

★平成21年度文科省科学研究費補助金について★

平成21年度文部科学省科研費の公募時期が近づいてまいりました。それに向け、現在、研究者 e-Rad 登録状況の確認を各講座にお願いしております。(平成21年度文部科学省科学研究費補助金の応募に係る研究者の e-Rad 登録確認について(8/25付):提出期限9月5日)ご協力よろしくお願いたします。また、内容・日程等は未定ですが、若手研究者向け申請書作成レクチャーや、公募要領説明会の実施を予定しております。詳細が決まりましたら別途通知いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

★寄附講座について★

今年度から寄附講座を受け入れることとなり、受け入れから契約、経理事務を担当しています。今年度、株式会社アインファーマーシーズによる「緩和医療学講座」、日東電工株式会社による「分子標的探索講座」を設置しました。

★はこだて未来大学との連携協定締結式について★

日時: 9月12日 午後1時より  
場所: 基礎医学研究棟5階会議室

連携協定大学としては小樽商科大学、北海道医療大学、室蘭工業大学に続くものになります。センターでは大学間連携による共同研究や、産学連携の取り組み推進を支援します。

★研究シーズ集について★

各講座のご協力を得て作成した研究シーズ集は、センターホームページからアクセスできるようになっています。

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/seeds/indexseeds.html>

シーズ集の内容については、最新の情報を掲載できるよう更新のご協力をお願いします。

△▼寄附金部門

★奨学寄附金、研究助成事業について★

本年度から札幌医大振興財団より奨学寄附金の経理管理業務、研究助成事業を引き継ぎました。寄附金の案内を見やすくホームページにまとめましたので、ご活用ください。

<http://web.sapmed.ac.jp/kikaku/kifukin/kifukin.html>

△▼知的財産管理室

★特許出願について★

今年度8月現在で、延べ7件の特許出願を行いました。出願に当たっては、センター内で新規性、市場性を検討しています。特許出願に関するご相談や、特許出願に向けた研究戦略のご相談など、随時対応しております。医大の知財の取り扱いなど、よく聞かれる質問をホームページにまとめましたので、ご参照ください。

<http://web.sapmed.ac.jp/chizai/chizaigp/ga/seido.html>

★医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育について★

文部科学省採択事業(現代GP)として平成17年度より取り組んでおります。平成20年度より、遠隔地や地域で医学研究を続けている大学院生や社会人に向け知財教育 e-Learning を開始いたします。詳しい情報は、下記のホームページをご参照ください。

<http://web.sapmed.ac.jp/chizai/indexgp.html>

- 2. 外部研究費公募情報について  
-----

外部研究費の公募情報については、HP(学内限定)で最新の情報をお知らせするほか、「センター通信」で学内教員、関係者の皆さんに随時メールで情報提供を行っております。

HPアドレス <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/sangaku.html> (学内限定)

センター通信配信希望 [ichise@sapmed.ac.jp](mailto:ichise@sapmed.ac.jp) まで

-----  
3. センター所長から（1） 三高 俊広  
-----

月に一度程度になると思いますが、センターマガジンを配信することにしました。センター通信は、研究費の公募案内やセンターからのお知らせを教員・研究者の皆さんに迅速に周知することを主な目的にしています。そのため随時発行することにしてあります。一方、センターマガジンはセンターが中心となって行事や取り組み、方針などの報告を目的にしますので月に一度程度定期的に発行する予定です。

お気づきの方も多いと思いますが、センターのホームページを一新しました。センター通信およびマガジンからホームページの該当箇所に飛べるようにリンクを張り、教員・研究者の皆さんにできるだけ使いやすく、かつわかりやすいように工夫したつもりです。今後も改善をして内容を充実するよう心がけますが、皆さんからのアイデアも積極的に取り入れたいと思いますので、お気づきの点がありましたら是非お知らせください。

センターの実際の業務内容についてこのマガジンを利用して説明していきたいと思っています。センター業務のほとんどは教員・研究員の皆さんの研究に直接関係していますし、センターで行っていることを理解していただくことによってお互いの仕事が円滑に進むことに繋がると思うからです。これまで研究者と事務の相互理解が少なかったため様々なところで摩擦や誤解を生じていました。このようなことをできるだけ少なくするためにセンターとしましては、個々の業務内容についてできるだけ分かり易く説明し、理解していただけるように勤めたいと考えています。特に経理事務手続きに関しましては、本年6月に法人経理担当部門における運用方法を大幅に変更しました。規則そのものに変更はないのですが、現状に合うようにその運用の弾力化を図っていただきました。しかしながら、運用に当たって経験の蓄積が少ないため、法人、研究者双方で混乱を生じています。今後はホームページにQ&Aのページを作り例示をすることで、事務担当者の負担を軽減し事務処理を円滑に進められるようにしたいと考えています。できるだけ早くにアップする予定です。

センターは、産学地域連携部門、知的財産管理室（知財室）、寄附金部門の3つの部門からなります。産学地域連携部門は、桂川主査以下9名が従事し、国・民間を含むすべての外部資金の申請手続き・経理事務を担当しています。また共同研究・受託研究などにおける企業との窓口になり契約などの手続き事務およびその経理事務・管理を行っています。当然外国企業との契約業務もあり、そのため英語能力の高い所員が数名配置されています。知財室は、大学教職員が生み出した特許や有体物（抗体、細胞等）など知的財産の管理や発明相談、特許の国内外への出願、MTAなどの契約などの業務の他に、産学官連携、学学連携などの推進やGPなどに係る様々な業務を行っています。大学研究者のシーズを調査し、研究費獲得のバックアップや企業との関係を取り持つコーディネート活動も行っています。副所長の石埜は弁理士の資格を有し、大学の知財全体に責任を持って対応しています。助教の一瀬、NEDOフェローの小野寺、8月からは産学官連携コーディネーターとして

佐藤が文部科学省から配置され、そのほかに上田主査以下5名がこの部門に従事しています。さらにTranslational Research (TR)を促進するために朝倉専門員他1名がこの部門に加わっています。寄附金部門は、これまで札幌医科大学振興財団が行ってきた寄附金の経理管理事務、研究振興助成業務を引き継いでいます。山下専門員以下6名が従事しています。

これらの業務に関係してセンターが扱うお金は、科研費、共同・受託研究費、寄附金などを含めると約10億円になります。出入金を考えるその倍のお金の流れを扱うことになり、その責任は重大であるとともに事務処理量も膨大なものとなるのはご理解いただけるものと思います。研究者の方には「そんな面倒な書類が必要なの？」とよく問い合わせがありますが、法人の金庫に入ったお金は公金ですので、その使用に当たっては説明責任が生じます。毎年、北海道からの監査が入り、ここの出入金の妥当性が検討されます。できるだけ研究者の皆さんにご負担をおかけしないよう努めるつもりですが、必要な書類の作成には協力をお願いいたします。

-----  
☆編集後記

今年度最初の「附属産学・地域連携センターマガジン」をお届けします。本マガジンは学内教職員、関係者の方々へ配信しておりますが、お近くで配信希望の方がおられましたら一瀬 [ichise@sapmed.ac.jp](mailto:ichise@sapmed.ac.jp) までご連絡ください。(IN)

=====  
附属産学・地域連携センターメールマガジン

編集 産学官連携コーディネーター 一瀬信敏  
発行 札幌医科大学附属産学・地域連携センター  
URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>  
メール [renkei@sapmed.ac.jp](mailto:renkei@sapmed.ac.jp)  
[ichise@sapmed.ac.jp](mailto:ichise@sapmed.ac.jp) (一瀬)

-----